

平成26年7月25日

公立豊岡病院組合 管理者 佐藤 二郎 殿

(仮称) 朝来医療センター建設事業者選定委員会  
委員長 河口 豊

## (仮称) 朝来医療センター建設事業者選定委員会における審査結果の報告

(仮称) 朝来医療センター建設事業者選定委員会(以下「選定委員会」という。)は、公立豊岡病院組合(以下「組合」という。)が建設する(仮称)朝来医療センターの建設事業者選定に当たって、慎重に審議を行い、次の事業者を最優秀提案者に選定したので、報告いたします。

株式会社竹中工務店 神戸支店

### 経過および総評と選評

#### 1 委員会の構成 (敬称略 50音順)

委員	河合 慎介	京都府立大学 准教授
委員長	河口 豊	滋慶医療科学大学院大学 教授
委員	辻野 純徳	有限会社 UR設計 代表取締役
委員	毛呂 正俊	MORO設計監理室 代表
委員	木山 佳明	公立朝来梁瀬医療センター 院長
委員	恒成 徹	公立朝来和田山医療センター 院長
委員	佐藤 二郎	公立豊岡病院組合 管理者

#### 2 審査日程及び内容

(仮称)朝来医療センター建設事業(以下「本事業」という。)の事業者選定に当たって、計2回の選定委員会を開催し審議を行った。

##### (1) 第1回選定委員会 平成26年4月30日(水)

組合が定めた選定委員会設置要綱に基づき、委員の互選により委員長には河口委員を選出した。

設計施工一括発注の基準及び総合評価一般競者入札の手続きについて説明を受け、入札説明書及び落札者決定基準について審議を行った。

このうち、技術提案を求める課題については、経済社会システムの急激な変化に伴い厳しい財政状況や増大する環境制約等の直面する課題を踏まえるとともに、設計施工の欠点とされる設計と施工のチェック体制を十分に機能させて設計品質を高め、本件プロジェクトに求められる地域に果たす医療的役割や社会経済的な意義をいかに実現するのかを問うものとして次の5つの課題を選定し、高度な技術又は優れた工夫を含む提案を求めることとした。

- ① 工期短縮に関する提案
- ② ライフサイクルコスト低減に関する提案
- ③ 基本設計の評価と改善に関する提案
- ④ 設計品質確保に関する提案
- ⑤ 地元企業活用に関する提案

また、落札者評価基準は、「技術提案に関する評価基準と配点」を定め、あらかじめ公表することとした。

なお、技術提案書の評価に当たっては、技術提案書の内容とヒアリングの結果により総合的に評価するものとした。

## (2) 第2回選定委員会 平成26年7月24日(木)

先ず、2事業者から参加申込みがあり、いずれの参加者も提出書類により募集に当たって求めた資格要件を満たしていることを確認した。

次に、当該2事業者が提出した入札価格のうち、予定価格を下回る価格提案が1件であることを確認し、技術提案の審査方法について審議したところ、価格評価に値する技術提案が1件であることから、最優秀案提出者の決定に当たっては、比較評価による採点評価は不可能であることを考慮し、提案内容の適否について審議することとした。

審査は、まず技術提案書が「入札説明書」や「技術提案書作成要領」等で示された諸条件を満たすとともに、求めた各項目を十分に理解し、これに応えた提案がなされていることを確認した。

次に提案内容の審査に当たっては、提案者にヒアリングを求め提案者からの説明および質疑を交わし提案に関する理解をより一層深めた。その後、選定委員会で意見交換を十分行い、当該事業者が本事業を円滑に遂行する能力を有することを全委員一致で確認し、最優秀提案者として選定した。

## 3 総評

建設業界においては、復興需要等による建設工事の需要拡大や建設資材・労務費等建設コスト増大等を背景として、将来リスクへの不安から大手建設業者の病院建設への受注意欲が低下しており、その結果兵庫県下においても最近の病院建設をはじめとする公共事業の入札実績において、参加者がいない入札不調や、応札価格が予定価格を上回る不落入札といった入札不成立の事例が頻発しているところである。

このような発注者側にとって非常に不利な状況下において、新病院建設のために様々な方策が組合において検討された結果、事業者の選定に当たっては別途とりまとめた基本設計を踏まえて、施工に繋がる設計の実施や工期の短縮、建設費の抑制等の効果を十分に発揮できる設計施工一括発注(詳細設計付き工事発注)方式が採用された。

一方、設計施工の実施に当たっては、設計と施工のチェック機能が働きにくくなりやすいことや設計施工が性能発注を旨とすることから具体的な仕様を受注者に委ねることになるため、組合が求める性能や仕様を実現する工夫を要するといった設計施工方式の欠点を補って、高度な技術的判断を要する病院建設を円滑に遂行する能力を有する事業者を選定する必要があった。

本設計施工一括発注の主旨は、上記に掲げたように厳しい財政制約や増大する環境制約等の困難な状況を乗り越えて、本プロジェクトの目的や意義である医療資源を集約し高度な医療を提供する地域の中核的な新病院を2病院を統合することにより実現するための技術的な解決策を問うたのであって、この問いに対しどのように応えられているかが、評価の最も重要なポイントとなった。

参加2名から提出された技術提案書は、何れも意欲に溢れ、豊富な業務実績と高度な技術力に基づいた優れた提案内容であった。

参加者各位の情熱と惜しまない努力に対し、委員一同、まず心から敬意を表したい。

## 4 選評

選定された技術提案書の概要は、以下のとおりである。

- (1) 設計と施工が明確に独立したプロジェクト体制による設計品質確保の仕組みについて高い評価を得た。
- (2) 建設技能労務者不足が深刻化するなか、プレファブ化やユニット化等による省力化により

工期短縮を図り、開院までの調整期間を十分に確保する提案は好評を得た。

- (3) 基本設計に示された病院計画に対して、課題等を十分に研究し、建設費の増を伴わない面積増やきめ細かい計画変更により解決している点は、病院建築に対する深い洞察力が感じられる提案であるとともに、高度な技術的判断に基づき構造計画を合理的に見直す提案は優れた技術力が感じられる提案であった。
- (4) 参加要件に付した地元企業活用条件を大幅に上回る提案は、地元活性に大いに期待できるものであり、本プロジェクトが地域社会に対して果たすべき役割を十分に意識した提案内容は、非常に高い評価を得た。

これらの結果、大手建設業者の病院建設への受注意欲が低下するなかで、本プロジェクトに参加しようとする意気込みを十分感じ取れる内容であるとともに、全体的な水準の高さが評価され最優秀となった。

最後に、建設に当たっては選定された事業者は組合の技術的な良きパートナーとなって、提案内容を確実に実現するとともに、病院側の要望をさらに深く聞き取り、さらに価値のある病院建築となるよう協議を重ね、朝来市域唯一の公立病院として新病院が医療ニーズの高まり等に十分に応え、地域医療を支える中核病院であるとともに、21世紀にも通用する良質な社会資本として整備されることを期待する。